



燈株式会社

Digital Billder/デジタルビルダー請求書  
(建設業向け請求書処理業務DXサービス)

紹介資料

## 目次 -Outline-

1. 会社紹介
2. Digital Billeder請求書紹介



# 1. 会社紹介

---



## 基本情報

社名

燈株式会社

設立

2021年2月

代表者

野呂侑希

本社

東京都文京区小石川1-28-1  
小石川桜ビル4階

従業員数

200名(2024年9月現在)

事業内容

企業のDX支援を目的とする  
ソリューション提供およびAI  
SaaSの開発と提供



# “最先端技術で 建設DXに挑む”

燈株式会社は、「テクノロジーで人の日常に感動を」というミッションのもと、産業が抱える課題を起点に、AIを中心とする最先端テクノロジーによって未来を実装する東京大学・松尾研究室発のAIスタートアップです。

建設業界には、多くのデータの資産を持つ歴史ある会社が多くあります。一方で、時間外労働規制や技能者の高齢化、資材の高騰などを背景として生産性向上や匠の技の継承が喫緊の課題となっています。

我々はこれらの課題に対して、アカデミアで培った最先端技術を用いて建設会社様と共に挑みます。



**i-Construction**

2022/05/04 日経新聞朝刊 に掲載

## 建設、データで脱・労働集約

**業界別の労働生産性 (就業1時間あたり)**

建設業の労働生産性は、製造業に次いで高い水準にあることが示されています。また、AIの活用により、設計業務の効率化が進むと見込まれています。

**担い手不足の現場を支える**

建設現場では、熟練労働者の不足が深刻化しています。AIを活用した設計や施工管理により、現場の負担を軽減し、生産性を向上させることが期待されています。

**「ハイパーAI」設計案を3次元化**

最新のAI技術により、設計案を3次元化し、リアルタイムで確認・修正が可能になりました。これにより、設計ミスやコスト超過を大幅に削減することが期待されています。

建築をアップデートするベンチャー 100に選出

**Special Feature**  
建築をアップデートする  
**ベンチャー100**  
建設業界に新風を巻き起こす100社を一挙公開

この特集では、建築業界に新しい風を吹き起こしている100のベンチャー企業を紹介しています。最新の技術やアイデアが満載です。

Forbes Japan 「世界を変える 30歳未満 30人」  
30 Under 30 2022 選出



## 2. Digital Bilder請求書紹介

---



# 建設業界向け 業務DXサービス

見積依頼、  
見積書受領、  
注文稟議、  
注文書送付、  
注文請書受領、  
請求書処理、  
経費精算、  
業務における疑問点解消、  
専門知識を踏まえた資料作成、

全ての業務が  
一気通貫したサービスで  
効率化可能



経費精算

見積書



Digital  
Builder

請求書

発注



導入  
都道府県数

46



請求書の「受領・承認・保管・入力」が電子でラクラク完了 /  
建設業向け請求書処理業務 DXサービス



令和3年改正法令基準



令和3年改正法令基準

# Digital Builder

請求書



ANAB  
ANAB Accredited  
ACCREDITED  
MANAGEMENT SYSTEMS  
CERTIFICATION BODY



ISMS-RC  
ISMS-RC

IS 796868 / ISO 27001

# Digital Bilder 契約企業実績(一部抜粋) 46都道府県 300社以上



2022.6.29 建通新聞社掲載



2022.7.20 北海道建設新聞掲載



2022.7.27 日刊建設工業新聞掲載



2022.10.3 滋賀産業新聞掲載



2022.10.11 中建日報掲載



2022.10.17 建設通信新聞掲載



2022.11.17 建通新聞社掲載



建設業の協力業者からの請求書受領・内部での承認・保管・各社システムへの入力までが全てアプリ上で完結するDX支援サービスです。

## 発行側



請求書をPDF形式で本システムに送信



請求書を紙で提出

## 受領側



システム上で電子受領



承認



承認



Digital Billderで原本保管



各社システムへの自動入力

※紙で受領した請求書を貴社or  
弊社でPDF化することも可能



PDF変換・本システムに送信



## 郵送・受け渡し



・郵送・開封や受け渡しなどの **請求書の運搬**に手間と時間がかかる。



## 承認



・順に紙の請求書を回して **押印**していくのに手間がかかる。



## 整理・保管



・紙の請求書の **整理・保管**に手間と時間がかかり、保管場所も必要  
・**過去の原本**を取り出すのに時間がかかる。



## 入力



・請求情報を原価管理・会計システムに **手入力**するのに時間がかかる。



## 出社必須



・いずれの請求書処理業務を行うにも **出社**が必要。



## 郵送・受け渡し



・請求書の運搬は電子上で完結し、**運搬に必要な作業がゼロ**に。



## 承認



・承認ボタンワンクリックで完了し**押印作業がゼロ**に。



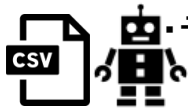
## 整理・保管



・日付、工事名、会社名等ごとに自動で整理され、ワンクリックで電子保管。  
**整理・保管にかかる時間と場所がゼロ**に。**過去の原本も瞬時に検索可能。**



## 入力



・データをcsvで連携し、原価管理・会計 **システムへの入力を自動化。**



## 出社不要



・**出社をしなくても** 請求書処理業務が可能。



## 建設業向けに特化しており、建設業界特有の請求書処理業務に対応

### 特徴1

工事単位で請求書を取り扱うことが可能。

事前に登録した工事と請求書を紐付け、工事ごとの請求書処理が可能

請求書の承認状況

一括操作 一括プレビュー 未対応 対応済 追加 検索

索引番号	工事名	請求日	金額	ステータス	操作
A建設株式会社	新ビル建設工事	2025/04/01	¥300,000	承認待ち	詳細
B建設株式会社	新ビル建設工事	2025/04/01	¥200,000	承認待ち	詳細
C建設株式会社	新ビル建設工事	2025/04/01	¥100,000	承認待ち	詳細
D建設株式会社	新ビル建設工事	2025/04/01	¥750,000	承認待ち	詳細

請求書は**工事ごと**に整理して、承認や保管をしている



### 特徴2

受領側のみ入力可能な項目を自由に設定可能。

工事・工種ごとの金額・相殺金額など受領側のみ入力可能な項目を自由に設定可能。複写式請求書も再現。

承認者入力権

出先	工種	承認権限
未入力	未入力	未入力

承認者入力権

金額	工種	相殺額
未入力	未入力	未入力

うちでは**複写式**の請求書を使ってるけど電子で再現できる？



工事・工種ごとの金額・相殺金額など、**受領側**で記入する項目がある

## 建設業向けに特化しており、建設業界特有の請求書処理業務に対応

### 特徴3

請求書に付随する資料もセットで取り扱い可能。

出来高調書や請求書明細などの資料も請求書とセットで受領し確認することができる。



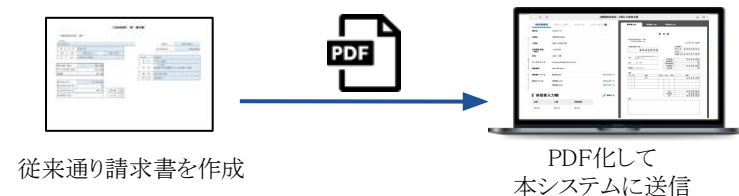
出来高調書や請求書明細などもセットで、請求書を処理している



### 特徴4

協力会社の業務に変化が少ない。代行も可能。

協力会社は従来通りに作成した請求書をPDFで本システムに送信。難しい会社の分は弊社や貴社にて代行。

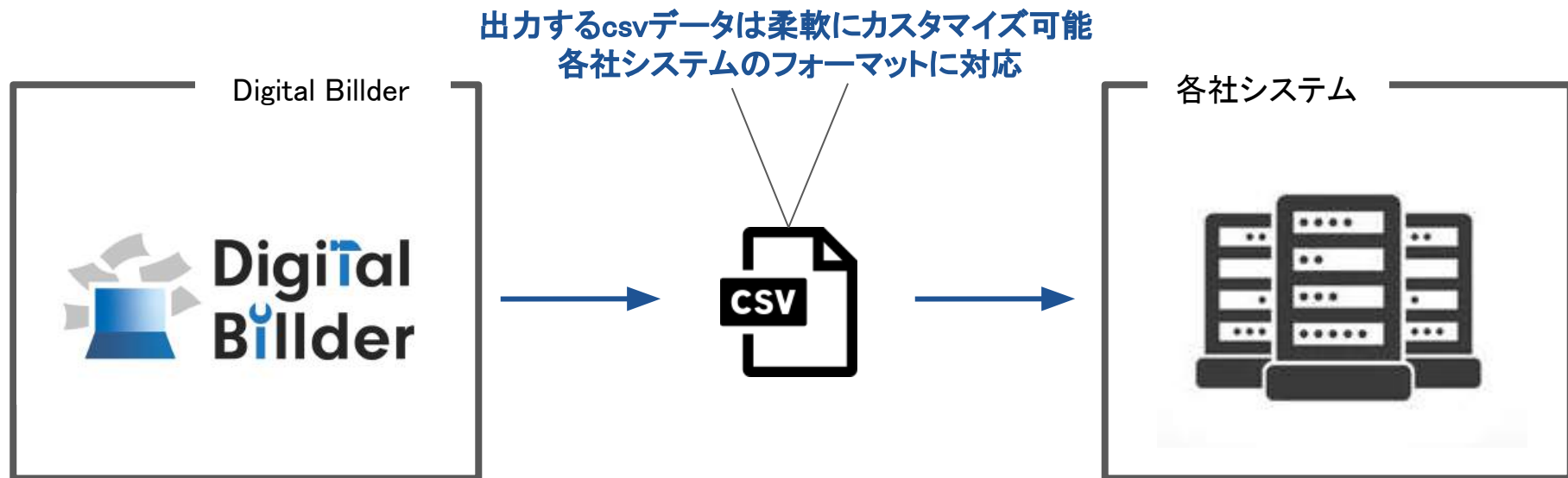


協力会社をデジタル化に巻き込むハードルが高い





Digital BIllderから出力したcsvデータを各社システムに取り込むことで、  
各社システムへの情報自動入力が可能



# 導入事例 ～請求書処理業務フローの変化～

導入前

協力会社

本社

現場

協力会社が請求書を作成・送付

協力会社から請求書受領、工事ごとに整理

各現場へ郵送 or 現場担当者が回収しにくる

本社から請求書受領・整理

現場担当者の内容確認・承認

本社へ郵送or運搬

工事責任者の内容確認・承認

経理へ渡す

経理の内容確認・承認

会計システムへ手入力

保管のための整理

保管

書類の運搬・整理・入力に  
大きな手間と時間がかかっていた



# 導入事例 ～請求書処理業務フローの変化～

導入後

協力会社

本社

現場

協力会社が請求書を作成・送付

協力会社から請求書受領、工事ごとに整理

各現場へ郵送 or 現場担当者が回収しにくる

本社から請求書受領・整理

現場担当者の内容確認・承認

本社へ郵送or運搬

工事責任者の内容確認・承認

経理へ渡す

経理の内容確認・承認

csv連携で会計システムに自動入力

保管のための整理

保管

書類の運搬・整理・入力が自動化され  
手間と時間が大幅に削減





左から総務部長竹橋、大前様、常務取締役橋本様

## 請求書処理業務に割いていた 多大な時間を大幅に削減

吉成建設株式会社



### 複数の請求書電子化サービスの中からDigital BILDERを選んだ理由について

**大前様:** Digital BILDERは建設業向けに特化したサービスで建設業特有の問題をクリアできていたことが大きな決め手です。工事現場等に請求書処理する事が可能だったり、契約内・契約外に対する出来高&内訳明細の提出機能があったり、自社の請求書フォームに柔軟に対応可能だったりする点が、魅力的でした。



### Digital BILDER導入前の業務の課題と導入による改善について

**大前様:** まず、請求書を現場監督に確認してもらい、回収し、工事未払金表を作成し役員に承認依頼を回すところまでが1週間くらい導入により早くなりました。

これまでは本社に届いた請求書を半日かけて全て開封し、工事ごとにまとめ、さらにそれを3人で1日かけて現場に配達し、監督査定後は同じく3人で現場まで回収しに行っていました。また工事管理表もExcelに全て手入力で作成していました。そしてそもそも締切日過ぎてから請求書が届くこともありました。Digital BILDER導入後は協力会社様が請求書提出すると、自動で工事ごとに振り分けられ、各現場監督の元へ直接届くようになったので、請求書を開封して工事ごとにまとめる時間や配達の時間は全てなくなりました。

また工事未払金表もcsvデータをDigital BILDERから出力することで自動作成が可能になりました。そして締め日を設定する機能があるので、締め切り後に遅れて請求書が届くということもなくなりました。また、これまで支払い通知書の送付は半日程度かけ、FAXで1件ずつ送付していました。Digital BILDER導入後は協力会社様のメールアドレスを取得することができたので、メールで一斉自動送信をすることが可能になりました。これはかなり嬉しい変化の一つです。

他にも工事別請求書の紙ファイリングが全て不要になった上、保管する手間もかからず場所の確保もいらなくなったり、請求書全データがクラウド内で管理されているので、支払い後に良くある監督依頼の過去データ検索も監督自ら行えつつ、総務の誰かが瞬時に確認できるようになりました。

### 一現場監督の業務改善に着目すると、どのような効果があったのでしょうか?

**橋本様:** 現場監督はこれまで本社から請求書が届くのを待ち、届いたら請求書をわずかな期日で一気に確認していました。通常業務もあるので、残業に繋がることが多かったのです。しかしDigital BILDER導入後は協力会社様から直接監督に届くので、監督は届いた順番に見たいタイミングで余裕を持って請求書を確認することができるようになりました。また押印も一切不要になるなど、現場監督からもかなり好評です。



### 使ってみて分かったDigital BILDERの魅力について

**大前様:** まずは対応の圧倒的スピード感に驚きました。改善点や疑問点があれば、いつでも電話で相談することができ、相談後即時に対応してくれる。また追加が必要機能があれば、それも高速で開発を行い、すぐにサービスに反映される。当社が使いやすいように必ず困難を乗り越えるという姿勢とスピードは、大手汎用システムでは有り得ない。SaaSならではの強みだと思います。

### 一協力会社様の皆様からのお声はいかがでしたでしょうか?

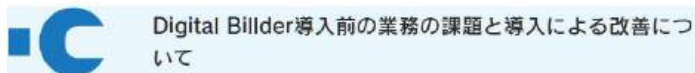
**大前様:** 概ね好評です。最初は対応できない協力会社様が多発するのではないかと心配していましたが、HPにて詳細な案内を載せ、支払い通知書で通知を行なったところ、導入初月からほぼ全ての企業様がDigital BILDERで請求書を提出してくれました。こんなにつまづき切り替えが行くとは思わず、いい意味で大きな誤算でした。

実は協力会社様にも結構メリットがあることがわかりました。従来は郵便にかかる時間があったので、協力会社様は早めに締め切り、速達などで対応する必要がありました。しかしDigital BILDER移行後は24時間・自社締め切りに合わせて請求書が提出可能で、郵送コストはゼロで発送時間が大幅に短縮することができます。

<https://www.lp.digitalbilder.com/yoshinarikensetsu>



「一致協力良いものをつくる」の社訓を掲げ、静岡県三島市を中心に総合建設業を営む山本建設株式会社。従来は、毎月の請求書の工事ごとの振り分け作業、社内での承認に膨大な時間がかかっており、支払までの期日に追われて処理を進めていました。Digital BILDER(デジタルビルダー)を導入し、請求書の振り分けがなくなり、社内での承認も電子上で効率的に行うことが出来るようになったことで、大幅に工数を削減することに成功しました。今回は総務部 部長 鈴木 啓太様にDigital BILDER導入前の業務、選定の理由、導入効果などをお聞きしました。



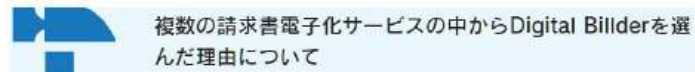
**鈴木様**：現場の方が戻ってくる移動時間などの間接費を考慮すると、弊社の単価2100～2200円の平均時給と考えれば月に10万～15万ぐらいの間接費が削減という、非常に高い費用対効果があります。

また、デジタルビルダーを運用していくにあたって、締日を変えようと思っています。というのも、弊社は元々15日締めなのですがこれが結構中途半端でして、結局、決算の時に16日～末日までの請求書を抽出して別途処理するなどが必要になります。デジタルビルダー導入によって短縮された処理時間のおかげで、末日締めに変えることが出来そうで、決算処理の早期化と経営陣の把握を早くすることで、次の動きをとりやすくしようと考えています。

月次報告の際も、半月のスレがなくなるため、経営戦略が立てやすくなるかと考えてます。少なくとも、今までよりも1週間は請求書処理の完了が早くなるかなと思います。頑張って、10日は早くすることができれば、現場だけでなく、社内全体の生産性も上がっていくんだろうなと思っています。



<https://www.jp.digitalbilder.com/yamamotokensetsu>



**鈴木様**：一番のところはやっぱりよく皆さん言いますが、建設業に特化していたということです。建設業特有の立替精算の処理や注文書コードの設定、工事ごとの精算が可能であることが大きいです。また、それらがすでにデフォルトの機能としてあることも導入の理由でした。

また、他の請求書電子化サービスは、カスタムに対応しておらず、こちらが合わせるしかなかったのですが、Digital BILDERであれば、要望に合わせた、柔軟に対応いただけていることが決め手になりました。



## 請求書回覧のオンライン化により 工事担当者の直帰が可能に！

株式会社 東組

『海の東組』と評される和歌山県県内トップクラスのマリコンである株式会社東組。これまで請求書の回覧に伴う工事担当者様の移動によって、工事担当者様へ負担がかかってしまっていました。Digital BILDER(デジタルビルダー)を導入し、請求書の回覧がオンライン化したことで紙が一切不要になり、工事担当者様や事務担当者様の負担軽減を実現しました。今回は代表取締役社長 東京弘様、土木部 宮本志郎様、総務経理部 中垣三奈様にDigital BILDER導入前の業務、選定の理由、導入効果などをお聞きました。



## Digital BILDER導入前の業務の課題と導入による改善について

**宮本様**：以前は、現場の方が本社に来る必要がありました。片道1時間かかる現場もあるので、往復2時間になります。昼間が現場なので、確認は夜になります。そこで協力会社が間違っていたり、疑問点があったりすると翌日に確認となり、修正が発生したら、また夜に修正しに本社まで来ている状況でした。夜、一言にチェックしに来るため、終わるのが21時くらいになっていることもありました。導入後は、この往復の時間や本社でのチェック渋滞が全てなくなり、現場から直帰できるようになりました。

その他の部分でも、郵送されてきた請求書の開封作業や、支払い明細書の裏側に請求書の原本を糊で貼り付けていた作業に時間がかかっていました。支払い明細が手書きで負担になっていましたが、CSVデータを使った自動作成になり、大幅な時間削減となりました。

また、どこで請求書が止まっているのかがリアルタイムでわかるので、見てくださいというアナウンスができることもいいですね。

**東社長**：今日中にハンコを押して欲しいとかっていうギリギリのこともありました。現場の方から夜渋滞するっていう不満は聞いていたので、導入してかなりよかったです。



## 複数の請求書電子化サービスの中からDigital BILDERを選んだ理由について

**宮本様**：オンラインでDigital BILDERの説明を聞かせてもらって、指定請求書がなくても電子化できるということは大きかったです。他のサービスでRPAやOCRがあっても、指定の場所に指定の文字がないと使えないということがありましたが、Digital BILDERは指定書式がなくても利用できる。インボイス制度や電子帳簿保存法にも対応しているのも嬉しいポイントですね。

請求書の項目の中に材料費や外注費などを振り分けられ、現場担当者が記載することによって、管理者が予算で組んだところの共通仮設費用に当たるところだなというのわかるようになりました。これまでは、工事台帳を作る際に業務が確かめながら打ちこんでいたので、それが一目でわかるようになりました。

**東社長**：請求書の処理が大変だという声が結構来ていたので、他サービスでは、解決できないかなと思っていました。東大発ベンチャーで建設業に特化しているということで将来性を感じ、何かやってくれそうな気がしたのが選んだ理由でもあります。



## 使ってみて分かったDigital BILDERの魅力について

**宮本様**：Digital BILDERを使用して疑問点と対応要望があった時の対応がびっくりするくらい早くなっていったのがありました。協力会社の請求書発行側もどうするのか、という声もあったが、使ってみたら簡単にこれなら出せますよという感じで出してくれました。対応できないところは、ほんの数件でした。

電子化するのに最低3ヶ月から半年くらいは協力会社にお問い合わせが必要かと思っていましたが、1ヶ月で9割、2ヶ月めでほぼ全ての協力会社に対応していただけました。

弊社の社員も請求書の使い方に説明が必要かと思っていましたが、ほとんど説明する手間もなく、みんなすんなり扱えたのも大きな魅力です。



## 大量の紙による請求書管理から解放され、処理にかかる時間を節約

沼田土建株式会社

お客様の信頼度「No.1企業」を目指し、群馬県沼田市に本拠を置く総合建設業を営む沼田土建株式会社。これまでは、大量の請求書を紙で取り扱っていたため、開封・仕分け作業に時間がかかり、現場監督への確認を含めると、処理に半月ほどかかっていました。Digital Bidder（デジタルビルダー）を導入し、電子上で自動的に仕分けされ、郵送が遅れてくることもなくなり、大幅に処理時間を短縮することができました。今回は、総務部部長 和南様、総務部課長 佐々木様、総務部課長 畑様、総務部課長 田村様にDigital Bidder導入前の業務、選定の理由、導入効果などをお聞きしました。

### Digital Bidder導入前の業務の課題と導入による改善について

**佐々木様**：経理的な目録では紙の請求書の開封や遠くの現場に送ったりするのに、時間がかかっていました。郵便が来るのを待つのも時間がかかり、遅れて請求書が届くこともあるため、締め日が曖昧になっていました。数百枚の請求書を2人で扱っていることもあり、請求書が無いときの確認が大変でした。まるでパズルのようで、届いた請求書に番号を振って、何番がないというような処理をしていました。Digital Bidder導入後は、開封・送付の時間がなくなり、かなりの時間短縮になっています。請求書の管理も格段に楽になりました。

**田村様**：締め日を設定して遅れ提出ができないように設定できるので、遅れて請求書がくることもなくなりました。

**佐々木様**：近い現場ばかりではないため、遠い現場ですと、取りに来る移動で相当な時間が発生していました。Digital Bidder導入で、取りに来て現場に持って行って、それをさらに戻しにくる。この時間がなくなりました。

**田村様**：直接現場担当者に届くのは非常に良いです。他サービスだと電子上で工事ごとに担当者に振り分けられないといけないというのがありますがそれもあります。また、大量に扱っていた紙がなくなったことも大きいです。一部どうしても紙でしか出せない業者様もありますが、社内で代理で提出することも出来るため、問題なく処理ができています。



### 複数の請求書電子化サービスの中からDigital Bidderを選んだ理由について

**畑様**：同じ会社でも支店によってフォーマットが違うということがあるため、そういった差を通常の請求書電子化サービスでは、対応しきれないことがあります。

**佐々木様**：Digital Bidderのサポートは、建設業のことをよくわかっていて、疑問にちすぐに返答していただけましたし、返答スピードも早く助かりました。

**畑様**：導入にあたっては、弊社だけではなくて協力会社のことも考えなくてはいけません。協力会社から費用を集めるとか、協力会社もシステムに登録しないといけないとかはなるべくやらせたくないというのがありまして、Digital Bidderは協力会社は、無料かつ導入も簡単に協力会社への説明も簡単でした。

また、分厚いマニュアルを見ておいてくださいというだけの会社も多いが、協力会社様へのサポートも含めて、しっかりと対応していただきました。

がなくなったことも大きいです。一部どうしても紙でしか出せない業者様もありますが、社内で代理で提出することも出来るため、問題なく処理ができています。



### 使ってみて分かったDigital Bidderの魅力について

**佐々木様**：カスタマイズを早くしてくれるので自社に合わせやすい。そこが一番大きいと思います。それに最近検索が早くなりましたよね。ちょっと遅くなったなと思っていたら、すぐに改善されていました。そういう対応の速さが魅力です。

**畑様**：シンプルな仕様ですよ。東京から離れた建設業は老若男女色んな人が働いていて、「PDFって何？」という会社もあったりもする。Digital Bidderはシンプルな仕様なので普及しやすいのかなと思っています。

## 電子帳簿保存法の改正により法律的な観点でも請求書の電子化システムの導入が必要

電子帳簿保存法の改正により2024年1月1日からは電子受領した請求書は一定の要件を満たして電子データ保存することが必須となる。

### ● 電子帳簿保存法に基づく電子取引データの取り扱いについて

時期	～2021.12.31	改正	時期	2022.1.1～2023.12.31	2024.1.1～
保存方法	電子データ保存 もしくは紙出力保存		保存方法	原則：電子データ保存 容認：紙出力保存	一定の要件を満たした電子 データ保存が必須

### ● 一定の要件について

<b>要件① 関連書類の備え付け</b>  帳簿に係る電磁的記録の保存等に併せて、システム関係書類等(システム概要書、システム仕様書、操作説明書、事務処理マニュアル等)の備付けを行うこと	<b>要件② 見読性の確保</b>  電磁的記録をディスプレイの画面及び書面に、整然とした形式及び明瞭な状態で、速やかに出力できるようにしておくこと	<b>要件③ 検索機能の確保</b>  取引先、取引日、金額の範囲検索、複数項目の同時検索などの検索機能があること	<b>要件④ 訂正防止措置</b> (以下のうち一つを満たす)  ・タイムスタンプが付された後の授受 ・授受後遅滞なくタイムスタンプを付す ・データの訂正削除を行った場合にその記録が残るシステム又は訂正削除ができないシステム利用 ・訂正削除の防止に関する事務処理規程の備付け
---	--	---	---





## 01. 導入 フェーズ

### 1. 導入企業に専任の導入支援パートナー

導入企業には専任の導入支援パートナーが付き、他社事例やノウハウを活用して運用体制を提案し、システム設定やカスタマイズをサポートします。

これによりスムーズな立ち上げを実現し、500社以上の対応実績を持つカスタマーサクセスが問い合わせ対応を行います。

### 2. スムーズな導入を実現する導入事前ミーティング

導入事前ミーティングでは、操作説明やデジタルビルダーを業務フローにカスタマイズし、運用体制の構築や課題解決の提案を行います。

目標を明確にし、スムーズに進行できるようサポートします。また、オンライン・オフライン両方で説明会を開催し(オフラインの場合別途費用)、周知資料も用意して全員が同じ理解を持てるようにいたします。



## 02. 拡大 フェーズ

### 3. 対応から溢れた質問を解消するサポート窓口

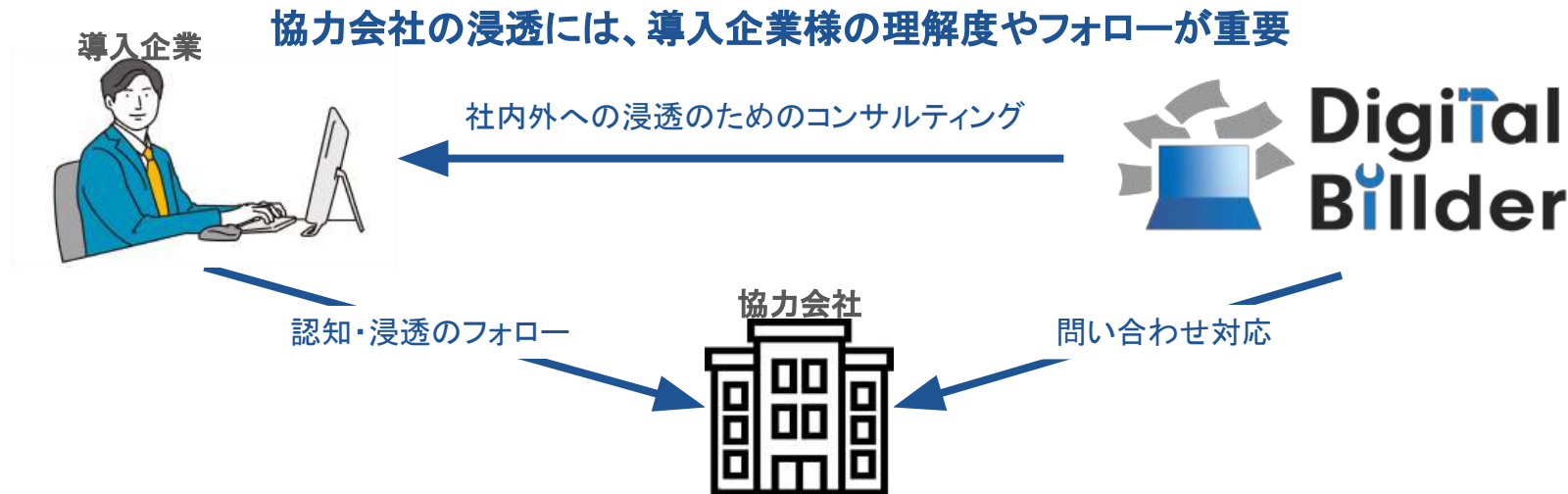
導入企業に集まる質問はパソコン操作や書類の内容など様々存在します。

導入企業で対応できる環境構築を支援はもちろん、対応が逼迫しないように当社にて電話やメールでお問い合わせ対応することが可能です。

### 4. 長期的な運用拡大に向けた体制構築を支援

電子化推進により、現場が重要業務に集中できる環境を実現するため、本社からの遠隔操作で現場の書類作業をゼロにすることも可能です。

理想体制に至るまでのステップを長期的な視点からご提案いたします。



## 協力会社へ浸透させる各種コンテンツ

- PDF資料
- 電話・メールサポート
- 操作解説動画

協力会社は **完全無料** で利用可能

0 円

---

- アカウントは無制限に発行可能
- データ量も無制限に利用可能
- 期間の制限なし

協力会社への**迅速サポート**



- 延べ500社以上を対応してきた専任チーム
- 協力会社からの問い合わせは弊社で完結
- パソコンが不慣れな方でも 電話でサポート

初期導入費用(税抜)	初期カスタマイズ費用(税抜)
100,000円	<del>100,000円</del> 無料

月額利用料金(税抜)		
基本料金	利用料金	
30,000円	～500通	200円/通
	501～1000通	190円/通
	1001通～	180円/通

オプション費用(税抜)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・出力csv2種類目以降 50,000円/種</li> <li>・OCR初期設定 50,000円/フォーマット</li> <li>・仕入明細書発行 50円/通</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エクセル作成、修正代行 100,000円/個(※要相談)</li> <li>・OCRオプション 50円/通</li> <li>・スキャン代行 50円/通</li> </ul>

※・最低契約期間 3ヶ月 ・利用料金の通数は提出日から1ヶ月後の時点で「破棄済」でない請求書の通数を指します。  
 ・月の途中にご利用を開始された場合でも、基本料金の日割は行っておりません。 ・振り込み手数料は貴社負担にてお願いいたします。

# Appendix

## 2022年・2023年で建設業管理業務DXの変化

全国の建設会社で、非効率な紙による管理業務の電子化・効率化の意識が、インボイス制度・電子帳簿保存法・時間外労働の上限規制により高まり、2022年・2023年で大きくDXが進んだ  
特にインボイス制度の影響を受けた請求書処理・経費精算業務のDXが進んだ

～2021年



煩雑な紙業務への課題感は存在。  
しかし他課題と比べての重要性や緊急性に欠け、改革は行われず。



3つの法制度への対応の必要性発生  
・インボイス制度(2023年10月)  
・改正電子帳簿保存法(2024年1月)  
・時間外労働の上限規制(2024年4月)

2022年・2023年



紙業務への課題感と法制度対応の必要性が結びつき、急激に各社で**管理業務のDXが進む**。

## 現在の建設業管理業務DXの主流2パターン

現在の建設業管理業務DXには、全業務を網羅する大規模なオールインワンシステムを開発するタイプと様々な業務別パッケージシステムを導入するタイプの2パターンが存在

### パターン1(大手建設会社様で主流)

全業務を網羅する大規模なオールインワンシステムを開発



### パターン2(地場建設会社様で主流)

様々な業務別パッケージシステムを組み合わせ導入

#### A社製品



発注システム

#### B社製品



請求書処理システム

#### C社製品



経費精算システム

#### D社製品



原価管理システム

#### E社製品



人事労務システム

#### F社製品



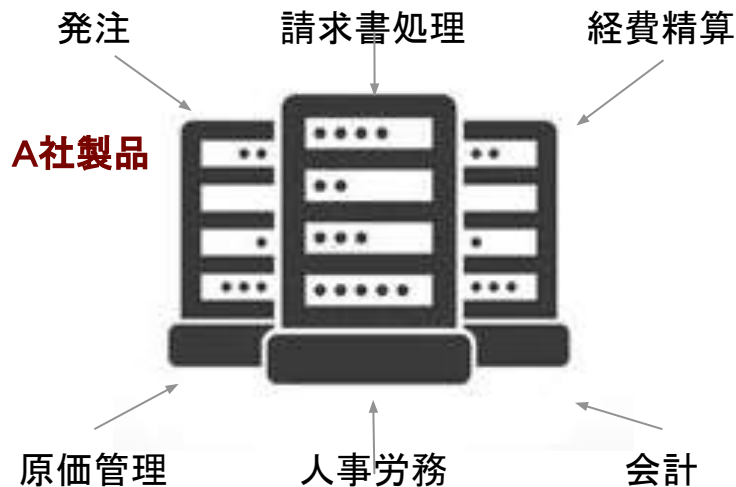
会計システム

# 現在の建設業管理業務DXの主流2パターンの課題

## 大手建設会社、地場建設会社では異なる課題が存在する

### パターン1(大手建設会社様で主流)

全業務を網羅する大規模なオールインワンシステムを開発



### パターン2(地場建設会社様で主流)

様々な業務別パッケージシステムを組み合わせせて導入

#### A社製品



発注システム

#### B社製品



請求書処理システム

#### C社製品



経費精算システム

#### D社製品



原価管理システム

#### E社製品



人事労務システム

#### F社製品



会計システム

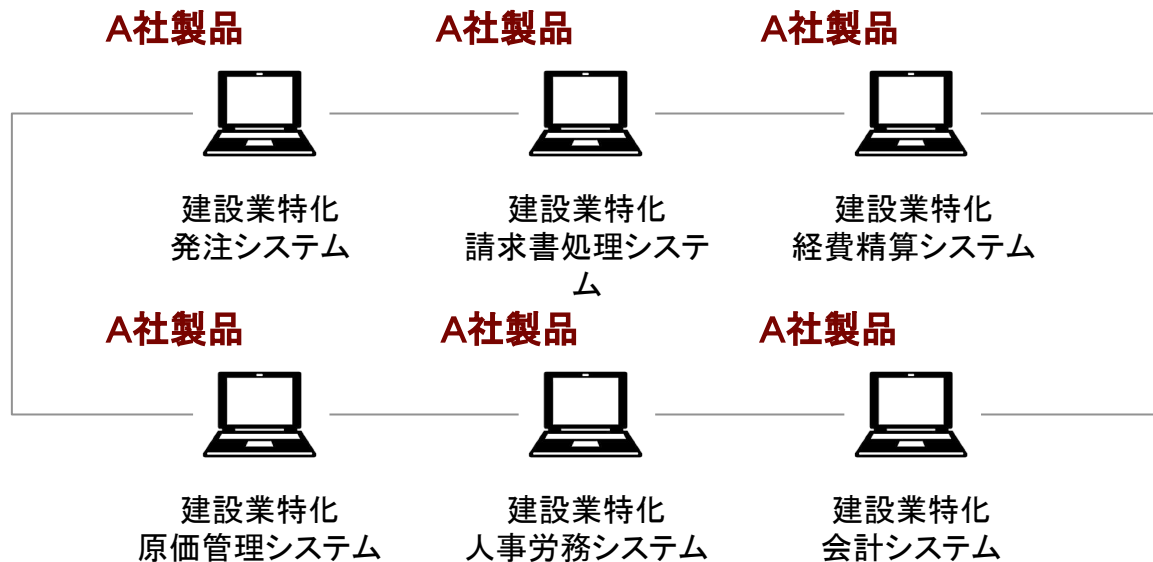
- ✘ システム会社の言いなりにならざるを得ない
- ✘ アップデートが行われない

- ✘ 非建設業特化で業務に合わない
- ✘ 各サービスでデータが連動していない



## これからの建設業管理業務DXの理想の形

未来の理想の建設業管理業務DXは、建設業に特化したデータが連動している同シリーズの業務別パッケージシステムを組み合わせて導入



- ・建設業の業務にフィット
- ・データが全サービスで共通化し連動
- ・定期的なアップデート
- ・サービスごとに導入、解約が可能で縛られない

# 燈が描く建設業管理業務DXの未来

燈はこの理想の形をDigital BIllderで実現を目指す。見積書・発注・請求書・経費精算は既に実現済み。  
今年以降原価管理・人事労務・会計などの開発を予定



建設業特化  
見積書システム



建設業特化  
発注システム



建設業特化  
請求書処理システム



建設業特化  
経費精算システム

Digital BIllder 原価管理  
(2025年開発予定)

Digital BIllder 人事労務  
(今年以降開発予定)

Digital BIllder 会計  
(今年以降開発予定)



建設業特化  
原価管理システム



建設業特化  
人事労務システム



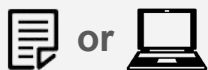
建設業特化  
会計システム

他Digital Bidderシリーズと連携することで、手入力や多数のシステム間連携などの手間を削減。かつ原価管理のサイクルを月次からリアルタイムに近づけて利益の最大化を狙うことが可能。

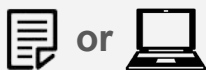
## 従来の原価管理

紙or他システムに入っている各工事原価を月次で原価管理システムに手入力 orシステム間連携  
→手間がかかり原価管理サイクルが長い

材料費



外注費



原価管理



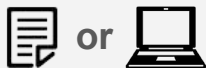
手入力  
or  
システム間連携  
(データ出力・入力)

手入力  
or  
システム間連携  
(データ出力・入力)

経費



人件費



## Digital Bidder原価管理

Digital Bidder請求書、経費精算、勤怠管理に入っている各工事原価を即時原価管理システムに自動入力  
→手間がかからず原価管理サイクルが短い

材料費



外注費



原価管理



自動連携

自動連携

経費



人件費

Digital Bidder勤怠管理  
2025年提供開始予定